



# LINK 300 LINK 500 取扱説明書

## 安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

- 警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
- 注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。
- 次の給表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。
- 禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
  - 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
  - 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
  - 電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。
  - 触れてはいけないことを示す記号です。

## 警告

- ACアダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万一方の場合、ACアダプタを容易に引き抜くためです。
- 付属品以外の電源コードは使用しない。火災の原因になることがあります。
- 付属品の AC アダプタを他の機器に転用しない。火災の原因になることがあります。
- 船舶などの直流（DC）電源には接続しない。火災の原因になります。
- 電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。火災・感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。
- 電源コードが破損した場合（芯線の露出や断線など）には、販売店または弊社サービスセンターに交換（有償）を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- タコ足配線しない。発熱により火災・感電の原因になります。
- テーブルタップ（延長コード）を使用しない。発熱により火災・感電の原因になります。
- 雷が降りはじめたら、電源アダプタには触れない。感電の原因になります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを本機の下敷きしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 煙が出る場合、異常なおいや音がする場合は、すぐに AC アダプタをコンセントから抜く。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。
- 水没させない。故障の原因になります。
- 本機の内部に水などが入った場合は、AC アダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社サービスセンターに点検をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- 本機の内部に異物を入れない。万一方、本機の内部に異物が入った場合は、AC アダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社サービスセンターに点検をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しない。引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 分解や改造をしない。感電の原因になります。
- 調理台や加温器の近くなど油煙や湯気があたる場所に設置しない。火災・感電の原因になることがあります。
- 直射日光があたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のおそばなど）に設置しない。キャビネットや内部回路に悪影響が生じ、火災の原因になることがあります。
- オーディオ機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のケーブルを使用して接続する。指定以外のケーブルを使用すると発熱し、やけどの原因になることがあります。

## 注意

- 濡れた手でコンセントを抜き差ししない。感電の原因になります。
- 長期間本機を使用しないときは、AC アダプタをコンセントから抜く。火災・感電の原因になります。
- AC アダプタを抜くときは、電源コードを引っばらない。電源コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。
- AC アダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。AC アダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。
- ほこりや湿気の多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。
- 不安定な場所や振動する場所に設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因となります。
- 移動するときは電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 薬物厳禁。ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

## Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信 / 受信ができなくなることがあります。

- 2.4GHz を利用する無線 LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BS チューナー、CS チューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

- 注意**
- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
  - 本機は、全ての Bluetooth 機器との接続動作を保証するものではありません。
  - 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

### 安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

### ご注意ください電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。

ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

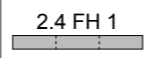
### 電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解 / 改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

### 周波数について

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約 10m です。



この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一方、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の放射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせ下さい。

## 電波について

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
  - 分解 / 改造すること
  - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。
- 次の場所では本機を使用しないでください。
  - ノイズが出たり、音が途切れて通常のご使用ができないことがあります。
  - 2.4GHz 周波数帯域を利用する、電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetooth などの機器の近く。
  - 電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナーなどのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。
  - 音声や映像にノイズがのることがあります。

## この取扱説明書について

この取扱説明書では、LINK 300 および LINK 500 について説明しています。LINK 300 と LINK 500 の機能や操作方法は基本的に同じですが、LINK 300 と LINK 500 の説明に違いがある場合は、違いを明記しています。

※ この説明書では、断りのない限り LINK 300 のイラストを使用して説明しています。

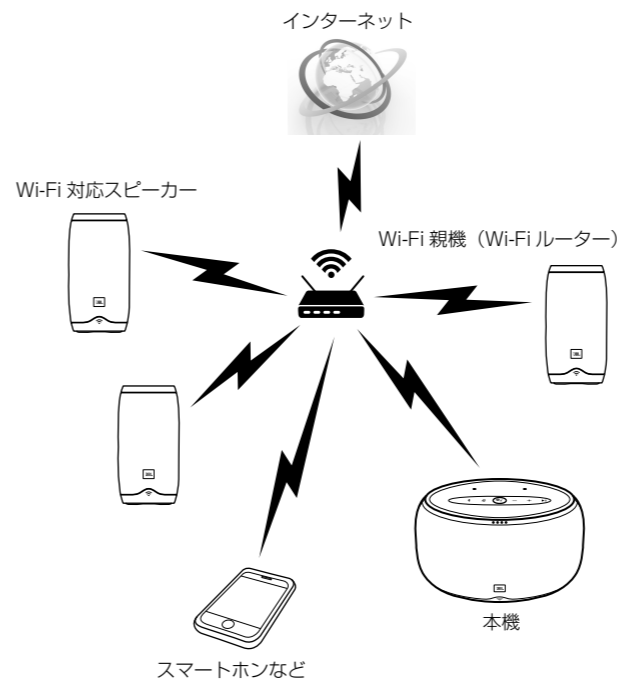
## 本機をご利用いただくための Wi-Fi 環境

本機のスマートスピーカーとしての機能をお楽しみいただくため、以下のような Wi-Fi 環境において本機をお使いください。図中、「Wi-Fi 対応スピーカー」は、適宜その他の Wi-Fi 対応機器（照明器具など各種の Wi-Fi 対応家電）に置き換えてご覧ください。

※ Wi-Fi 対応スピーカーは、Chromecast 内蔵のものがおすすめです。

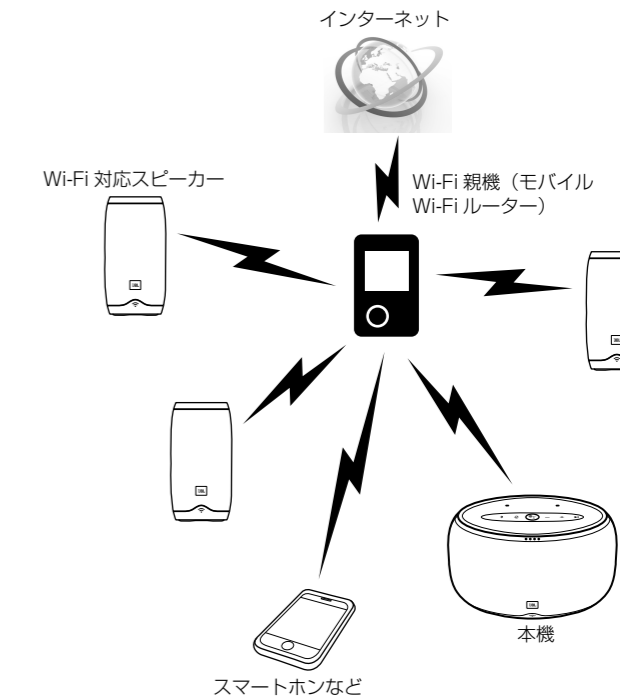
### Wi-Fi ルーターを利用した屋内 Wi-Fi 環境

屋内用の据え置き型 Wi-Fi ルーターを Wi-Fi 親機として利用します。



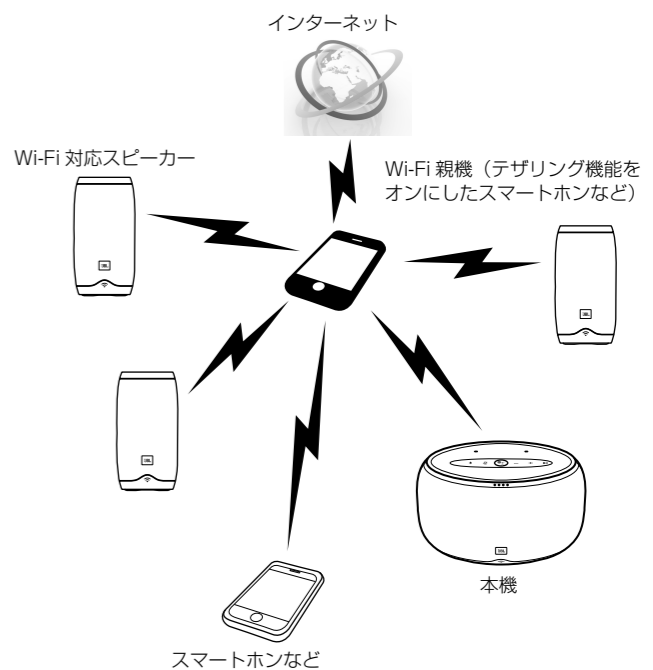
### モバイル Wi-Fi ルーターを利用した屋内 / 屋外 Wi-Fi 環境

屋内外で使用できるモバイル Wi-Fi ルーターを Wi-Fi 親機として利用します。



### スマートホンなどのデザリング機能を利用した Wi-Fi 環境

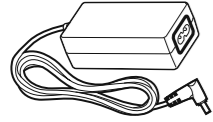
デザリング機能を持ったスマートホンなどを Wi-Fi 親機として利用します。本機の Wi-Fi 接続のために、もう 1 台のスマートホンなどに Google Home アプリをインストールして設定する必要があります。



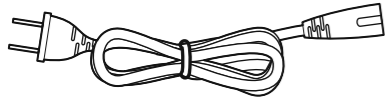
## 付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

□ AC アダプター（LINK 300 のみに付属）



□ 電源コード



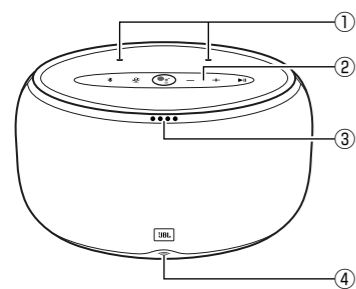
□ 日本語取扱説明書（本紙）

□ 多言語取扱説明書

□ 保証書（日本国内用）

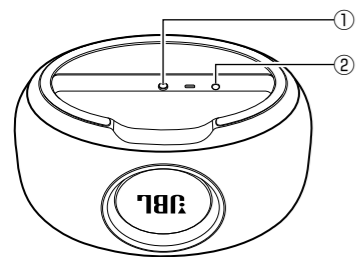
## 各部の名称

### ▶ 前面



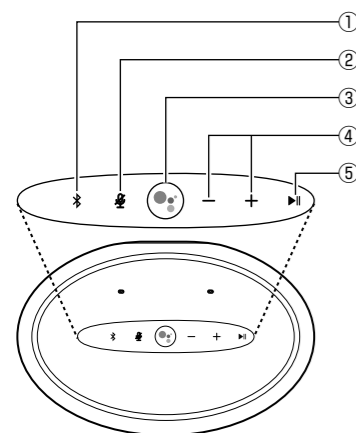
- ① マイク
- ② ボタン面
- ③ Google アシスタントインジケータ  
Google アシスタントが起動すると点滅します。
- ④ Wi-Fi インジケータ (📶)

### ▶ 底面



- ① POWER（電源）端子
- ② RESET（リセット）ボタン

### ▶ ボタン面

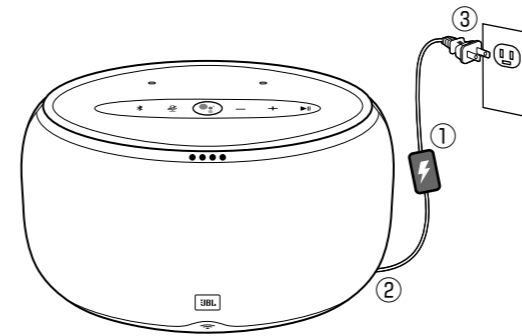


- ① Bluetooth ボタン (📶)
- ② マイクミュートボタン (🔇)  
マイクをミュートしたりミュートを解除するときに押します。  
10 秒以上長押しすると、本機をリセットすることができます。
- ③ Google アシスタントボタン (🗣️)  
押すと Google アシスタントが起動します。本機に向かって「OK Google」「ねえ Google」と発話した場合と同じ結果になります。
- ④ 音量+ / - ボタン
- ⑤ 音声 / タイマー / アラーム制御ボタン (▶||)

## 電源に接続する

### ▶ LINK 300 の場合

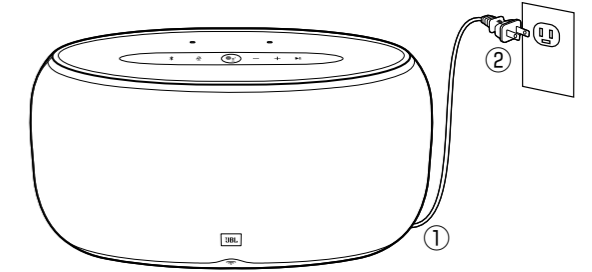
付属の AC アダプターと電源コードを使用してコンセントに接続します。



- ① 電源コードを AC アダプターに接続する。
- ② AC アダプターを本機底面の POWER（電源）端子に接続する。
- ③ 電源コードをコンセントに接続する。

### ▶ LINK 500 の場合

付属の電源コードを使用してコンセントに接続します。



- ① 電源コードを本機底面の POWER（電源）端子に接続する。
- ② 電源コードをコンセントに接続する。

### ▶ 電源に接続すると

本機を電源に接続し、何もせずに放置しておくと、本機は次のように動作します。

1. Google アシスタントインジケータが点滅
2. Wi-Fi インジケータも点滅
3. 電子音が鳴り、本機が「Google ホームへようこそ。開始するにはスマートホンまたはタブレットで Google ホームアプリをダウンロードしてください。」と発話
4. Google アシスタントインジケータが消灯（Wi-Fi インジケータは点滅したまま）

この状態で、本機を Wi-Fi 親機に接続するなど、本機のセットアップを始めることができます。

電源に接続し、Google アシスタントインジケータが点滅したらすぐにセットアップを開始してもかまいません。

セットアップについては、「本機をセットアップする」をご覧ください。

## 本機をセットアップする

ここでは、本機を Wi-Fi 親機と Wi-Fi 接続し、Google アシスタントを利用できるようにするためのセットアップの手順を説明します。そのために、スマートホンなどのデバイス\*（以下「デバイス」と表記）に Google Home アプリをインストールし、Google Home アプリを操作して本機をセットアップします。

\* デバイスには、あらかじめ Google アカウントの取得が必要です。

### ご注意

必ず本機を Wi-Fi 親機の電波到達範囲内で、Wi-Fi 電波が非常に強いところに設置してください。

### ▶ Google Home アプリをインストールする

お使いのデバイスのブラウザで「Google Home」を検索してダウンロード・インストールします。インストールが終了しても、まだ起動はしないでください。

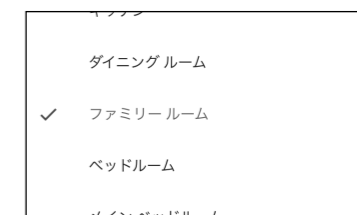
### ▶ セットアップする

本機を電源に接続したら、以下の手順でセットアップします。以下は、デバイスが iPhone の場合の一例です。

- ① デバイスの Wi-Fi と Bluetooth を「オン」にします。
- ② Google Home アプリを起動します。  
以下、画面の表示にしたがって操作を進めてください。

- ③ 「このデバイスの場所の選択」画面では、本機を使用する場所をタップして選択します。

「ファミリールーム」を選択した場合：



(次ページに続く)

- ④ 「Wi-Fi ネットワークの選択」画面では、デバイスと同じネットワークをタップして選択します。(画面は LINK 300 の場合)



暗号化キーの入力が必要な場合は、暗号化キーを入力します。



- ⑤ 「"Google Home" がマイクへのアクセスを求めています」と表示されたら [OK] をタップします。  
[許可しない] をタップすると、Google アシスタントに音声で話しかけることができなくなります。

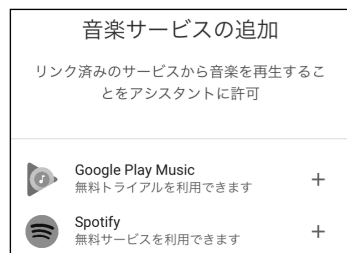


- ⑥ 「アシスタントに声を認識させる」画面では、表示にしたがって「OK Google」「OK Google」「ねえ Google」「ねえ Google」と発話してください。

- ⑦ 「住所の入力」画面で「"Google Home" の使用中に位置情報の利用を許可しますか?」と表示されたら [許可] をタップします。  
[許可しない] をタップすると、位置情報に基づく細かな情報を Google アシスタントから得ることができなくなります。





- ⑧ 「音楽サービスの追加」画面では、使用するデジタル音楽配信サービスを選択します。



- ⑨ 「最新情報をお届け」画面では、[登録 >] をタップして次に進んでください。

- ⑩ 「Home へようこそ」画面が表示されたらセットアップの完了です。  
以下、Google Home アプリを操作して Google アシスタントに話しかけるなど、実際の操作をお試しください。


操作中、画面下の  (探す) をタップすると Google アシスタントへの発話の例が表示されます。

画面下の  (見る) をタップすると使用するデジタル音楽配信サービスを追加するなどの動作ができます。

### セットアップが終了すると

本機を電源から外しても、セットアップの内容は保持されます。  
もう一度最初からセットアップしたい場合はマイクミュートボタン (🔇) を 10 秒以上長押しして本機をリセットしてください。

## ▶ メニューを表示する

Google Home アプリ画面の左上の  をタップするとメニューが表示されます。



メニューから希望の項目を選んでセットアップの内容の更新ができます。

例：

「デバイス」で、本機と同じ Wi-Fi 環境内に新しいスピーカーを「ベッドルーム」のスピーカーとして追加します。

本機の Google アシスタントを起動して「ベッドルーム」のスピーカーの動作を制御することができます。

## ▶ 本機のマイクを無効にする

発話しても Google アシスタントが起動しないようにするには、マイクミュートボタン (🔇) を押します。

本機が「マイクをミュートしました」と発話し、マイクが無効になります。ボタンはオレンジ色で点灯します。

ミュートを解除するにはもう一度マイクミュートボタンを押します。本機が「マイクのミュートを解除しました」と発話し、ボタンは消灯します。

## ▶ Google アシスタントの動作を制御する

Google アシスタントが何かを発話していたり、Google アシスタントによりタイマーやアラームを設定した場合、発話を途中で止めたり設定を解除するには、音声 / タイマー / アラーム制御ボタン (▶||) を押します。

## Bluetooth 接続で使用する

Bluetooth 機能を使ってストリーミング再生を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応機器を認識させる「ペアリング」が必要です。本機と機器を一度ペアリングすれば、その後に再度ペアリングを行う必要はありません。

## ▶ 準備

本機を電源に接続し、Google Home アプリによるセットアップを行います。

お買い上げ直後、電源に接続しただけの状態では Bluetooth 接続はできません。

## ▶ iPhone/iPod/iPad でペアリングを行う

- ① Bluetooth ボタン (📶) を押します。

ペアリング設定状態になり、Bluetooth ボタン (📶) が点滅します。

- ② iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にします。

「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。

Bluetooth に接続できる機器の一覧が表示されます。

- ③ 機器の一覧から本機を選択します。

本機の名称は、セットアップ時に「このデバイスの場所の選択」画面で選択した場所になります。

デバイスに「接続済み」と表示され、本機で電子音が鳴るとペアリングが完了します。

ペアリングが完了すると、本機の Bluetooth ボタンが点灯します。

例：「ファミリールーム」を選択した場合



## ▶ その他の機器でペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

- ① 電子音が鳴るまで Bluetooth ボタン (📶) を押します。

ペアリング設定状態になり、Bluetooth ボタン (📶) が点滅します。

- ② 相手側機器をペアリング設定状態にします。

接続する機器側で、本機を検出可能な状態に設定します。

パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。

一部の機器では、接続を確認するメッセージが表示されます。

Bluetooth ボタンが点灯すると、ペアリングは完了です。

本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、接続したい機器の Bluetooth をオンにするだけで Bluetooth 接続することができます。

## ▶ ストリーミング再生を制御する

再生中、音声 / タイマー / アラーム制御ボタン (▶||) を押すと再生が一時停止します。

もう一度押すと再生が再開します。

## ▶ Bluetooth 接続を解除する

iPhone/iPod/iPad で解除する

「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オン」から「オフ」にします。

その他の機器で解除する

接続している機器を Bluetooth 設定状態にし、Bluetooth を「オフ」にします。

## トラブルシューティング

症状	解決法
電源が入らない。	コンセントに正しく接続されているかご確認ください。
Google Home アプリで本機が見つからない。	本機が Wi-Fi 親機の電波の到達範囲内に設置されているかご確認ください。 Google Home アプリをインストールしたデバイスと本機が同じ Wi-Fi 環境下にあることをご確認ください。
音が出ない。	Wi-Fi 環境に接続されているか、または Bluetooth 接続されているかご確認ください。 Bluetooth 接続した音源機器側の再生が一時停止になっていないかご確認ください。
音が歪む。	音量が上がり過ぎている場合は音量を下げてください。
Google アシスタントを利用できない。	Wi-Fi 親機の AP アイソレーションがオフになっていることをご確認ください。AP アイソレーションがオンになっている場合は、オフにしてもう一度 Google Home アプリによるセットアップを行ってください。 Wi-Fi 親機の UPnP が有効になっていることをご確認ください。UPnP が無効になっている場合は、有効にしてもう一度 Google Home アプリによるセットアップを行ってください。
Bluetooth でペアリングできない。	お手持ちのデバイスが本機と対応しているかどうかご確認ください。 別の機器と接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされている Bluetooth 機器をオフにしてください。

## 主な仕様

	LINK 300	LINK 500
使用ユニット	89mm 径ウーファー x 2 20mm 径ツイーター x 2	
最大出力	25W x 2	15W x 4
周波数特性	55Hz ~ 22kHz	
S/N 比	80dB	
入力	Wi-Fi、Bluetooth	
Bluetooth	バージョン：Bluetooth4.2	
Bluetooth コーデック	SBC	
無線 LAN	2.4GHz：IEEE802.11b/g/n/ac 5GHz：IEEE802.11b/g/n/ac	
電源	DC19V、3.0A	100-240V、50/60Hz
サイズ	幅：236mm x 高さ： 134mm x 奥行：154mm	幅：370mm x 高さ： 200mm x 奥行 157mm
重量	約 1.7kg	約 3.5kg

## ▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください

## ▶ HARMAN Owners' Club

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。HARMAN Owners' Club (ハーマンオーナーズクラブ) は、ハーマンインターナショナル取り扱い製品ご愛用者のための会員プログラムです。

会員様に向けたさまざまな特典やサービスをお届けします。

<https://www.harman-ownersclub.jp>

このアドレスからアクセスしてください。

携帯電話 (フィーチャーホン) からは登録できませんのでご注意ください。

## ▶ 製品に関するお問い合わせ

<http://jbl.harman-japan.co.jp/support/>

メールでのお問い合わせは、上記 URL よりお問い合わせフォームをご利用ください。

Tel : 0570-550-465 (ナビダイヤル)

受付時間：土日・祝日・年末年始を除く、平日 9:30 ~ 17:30



- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED ロゴは Wi-Fi Alliance の認証マークです。
- Google、Google Assistant、Chromecast は Google LLC の商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。



ハーマンインターナショナル株式会社

© 2018 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.